

おいしさと健康



第112期 中間[第2四半期] 報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



江崎グリコ株式会社



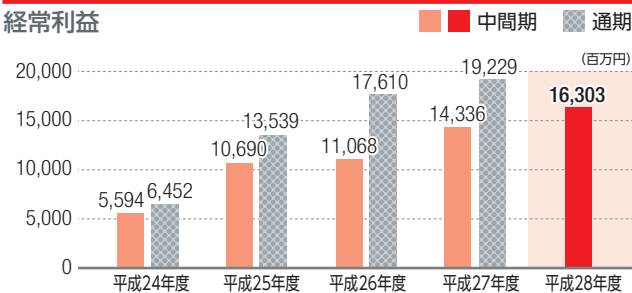
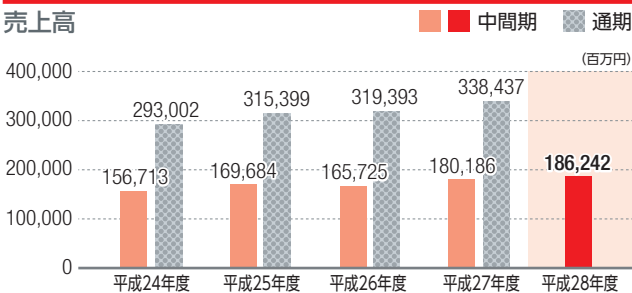
Glicoの企業理念

おいしさと健康

おいしさの感動を、
健康の喜びを、
生命の輝きを

Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

財務ハイライト ■ 連結



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第112期中間(第2四半期)報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、円高の進行に伴って企業収益や個人消費は足踏み状態で推移し、また、中国を始めとする新興国等の景気下振れや英国のEU離脱問題など先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、菓子部門、食品部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門は前年同期を下回りましたが、冷菓部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は186,242百万円となり、前年同期(180,186百万円)に比べ3.4%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や海外子会社の売上原価率の改善等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、牛乳・乳製品の構成比率のダウンによって運送費及び保管費が減少し、広告宣伝費及び減価償却

費も減少しました。その結果、営業利益は16,423百万円で前年同期(12,594百万円)に比べ3,829百万円の増益となり、経常利益は16,303百万円で前年同期(14,336百万円)に比べ1,967百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,555百万円となり、前年同期(10,199百万円)に比べ、1,356百万円の増益となりました。

なお、中間配当金は、5月13日に公表いたしました通り、1株当たり20円といたしました。

下半期につきましても、国内景気は依然として不透明な状況が続くと見られ、当社グループを取り巻く環境はますます厳しくなるものと予想されますが、グループ企業全社を挙げて業績向上をはかり、株主の皆様のご期待にこたえる所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

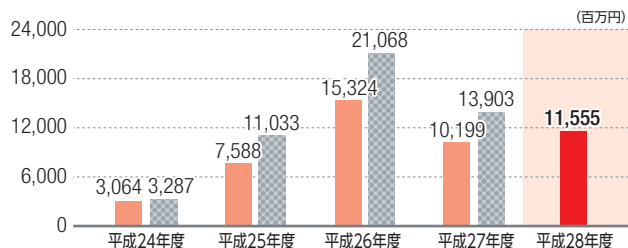


取締役社長

北崎 勝久

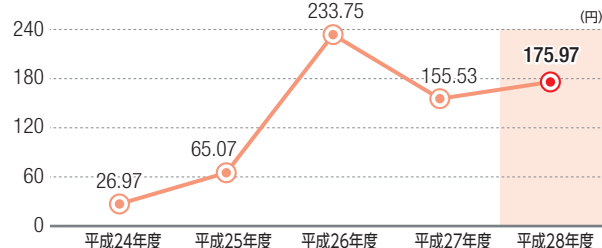
平成28年12月

親会社株主に帰属する四半期純利益



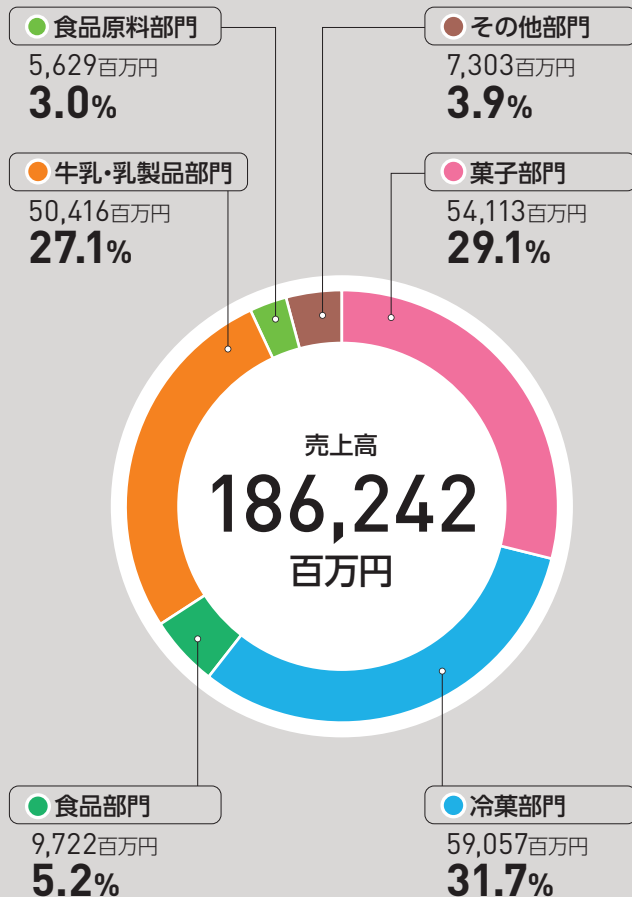
※平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

1株当たり四半期純利益



セグメント別の概況 ■ 連結

セグメント別売上高とその割合



○ 菓子部門

54,113百万円

[前年同期比5.1%の減収]



売上面では、国内は“リベラ”“バンホーテンチョコレート”等が前年同期を上回り、全体では前年並みとなりました。海外は、現地通貨ベースでは前年同期を上回りましたが、円高の影響により円貨ベースでは前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54,113百万円となり、前年同期(57,049百万円)に比べ5.1%の減収となりました。

○ 冷菓部門

59,057百万円

[前年同期比17.1%の増収]



売上面では、主力の“パピコ”“ジャイアントコーン”“アイスの実”等が前年同期を上回りました。また、Glico Frozen(Thailand)Co.,Ltd.及び新たに連結範囲に含めました正直屋乳販(株)の売上が上乘せとなりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は59,057百万円となり、前年同期(50,430百万円)に比べ17.1%の増収となりました。

○ 食品部門

9,722百万円

[前年同期比5.3%の減収]



売上面では、“カレー職人”“クリアおぼさんのシチュー”等は前年同期を上回りましたが、“プレミアム熟カレー”等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,722百万円となり、前年同期(10,263百万円)に比べ5.3%の減収となりました。

○ 食品原料部門

5,629百万円

[前年同期比0.9%の減収]



売上面では、“E-スターチ”等は前年同期を上回りましたが、「ファインケミカル」「澱粉」等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,629百万円となり、前年同期(5,681百万円)に比べ0.9%の減収となりました。

○ 牛乳・乳製品部門

50,416百万円

[前年同期比5.9%の減収]



売上面では、「BifiXヨーグルト」「粉ミルク」、キリンビバレッジ(株)の「トロピカーナエッセンシャルズ」等が前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”“プッチンプリン”等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50,416百万円となり、前年同期(53,579百万円)に比べ5.9%の減収となりました。

○ その他部門

7,303百万円

[前年同期比129.5%の増収]

売上面では、「オフィスグリコ」や、セグメント区分を変更した“アーモンド効果”“カロリーコントロールアイス”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,303百万円となり、前年同期(3,182百万円)に比べ129.5%の増収となりました。

❖ 連結決算の状況

四半期(中間)連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日)
[資産の部]		
I 流動資産	131,335	143,046
現金及び預金	50,941	60,903
受取手形及び売掛金	35,113	40,267
有価証券	11,395	9,075
商品及び製品	12,451	13,127
仕掛品	865	867
原材料及び貯蔵品	13,578	12,636
その他	7,042	6,229
貸倒引当金	△54	△59
II 固定資産	143,639	144,811
(有形固定資産)	82,577	83,075
建物及び構築物(純額)	22,489	30,451
機械装置及び運搬具(純額)	28,379	27,646
土地	15,711	15,697
建設仮勘定	12,025	5,341
その他(純額)	3,972	3,937
(無形固定資産)	4,053	5,104
その他	4,053	5,104
(投資その他の資産)	57,008	56,630
投資有価証券	37,922	38,365
投資不動産(純額)	12,402	12,380
その他	6,735	5,935
貸倒引当金	△52	△50
資産合計	274,974	287,857

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日)
[負債の部]		
I 流動負債	76,795	80,478
支払手形及び買掛金	28,396	33,472
短期借入金	5,218	1,781
1年内返済予定の長期借入金	501	439
未払費用	25,107	26,740
未払法人税等	2,179	4,440
販売促進引当金	1,675	1,912
役員賞与引当金	41	—
BIP株式給付引当金	56	—
ESOP分配引当金	1,366	—
その他	12,253	11,692
II 固定負債	19,027	19,518
長期借入金	501	1,139
退職給付に係る負債	10,927	8,075
その他	7,598	10,304
負債合計	95,822	99,996
[純資産の部]		
I 株主資本	163,968	175,099
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,816	9,048
利益剰余金	155,190	165,468
自己株式	△6,811	△7,191
II その他の包括利益累計額	9,623	7,503
その他有価証券評価差額金	7,949	9,257
為替換算調整勘定	2,646	△1,143
退職給付に係る調整累計額	△973	△610
III 非支配株主持分	5,560	5,258
純資産合計	179,151	187,860
負債純資産合計	274,974	287,857

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

FINANCIAL STATEMENTS

四半期(中間)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (27.4.1~27.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (28.4.1~28.9.30)
I 売上高	180,186	186,242
II 売上原価	97,291	99,307
売上総利益	82,894	86,935
III 販売費及び一般管理費	70,300	70,511
営業利益	12,594	16,423
IV 営業外収益	2,646	1,609
V 営業外費用	905	1,729
経常利益	14,336	16,303
VI 特別利益	457	313
VII 特別損失	18	284
税金等調整前四半期純利益	14,775	16,332
法人税、住民税及び事業税	4,255	4,764
法人税等調整額	△43	△402
法人税等合計	4,212	4,361
四半期純利益	10,562	11,971
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,199	11,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	363	415

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期(中間)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (27.4.1~27.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (28.4.1~28.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,104	22,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,688	△9,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,205	△3,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△3,129
現金及び現金同等物の増減額	1,198	6,905
現金及び現金同等物の期首残高	59,406	52,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,604	58,916

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



2017年3月期

重点取り組み進捗状況

2020年の目標達成に向け、重要な取り組みに掲げている「強い商品カテゴリーの創出」と「積極的な海外展開」について2017年3月期の進捗をご紹介します。



国内事業

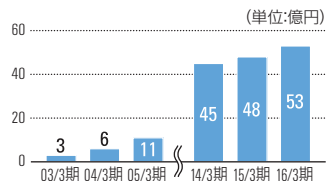
2016年6月1日付で、会社分割により新設したグリコチャネルクリエイト株式会社にオフィスグリコ事業と直営店舗事業を承継しました。

オフィスグリコ事業

オフィス向け置き菓子の売上拡大をめざす

オフィス向け置き菓子サービスとして、1999年に事業を開始して以降、順調に売上を拡大し、2016年3月期には50億円を超える規模に成長しました。現在、全国11万事業所に13万に及び菓子や飲料ボックス（冷蔵庫）を提供しています。さらに2018年度までに売上を63億円に拡大する計画です。

■ オフィスグリコ売上高実績推移



2018年度計画

売上63億円

直営店舗事業

百貨店をはじめ新チャネルを開拓

百貨店4店舗に出店している「バトンドール」をはじめ、「キャラメルキッチン」、「ぐりこ・やKitchen」といった直営店を展開しています。今後も既存チャネルとは異なる新チャネルとして売上拡大に注力していきます。

店舗

●バトンドール

高島屋大阪店、阪急うめだ本店、
高島屋京都店、博多阪急店

●キャラメルキッチン

新千歳空港 国内線ターミナルビル2階

●ぐりこ・やKitchen

JR新大阪駅
在来線改札内「エキマルシェ新大阪」



海外事業 | タイ

新ブランド、輸出で2桁成長を狙う

タイ国内での販売および、マレーシア、米国向けの輸出が2桁成長を記録し、タイグリコの成長をけん引しています。

●2016年7月

□どけの良いテンパリングチョコレート
「CHOKOLA」を発売



好業績のタイ冷菓事業で販路を拡大

2016年1月よりタイ国内の約1,000店舗で冷菓製品の販売を開始しました。以降販売数を伸ばし、2016年12月末時点で2,900店舗に配荷する計画です。2017年はバンコク周辺以外の地域にも販路を拡大し、配荷店舗数を増やしていきます。

❖ チョコレート

おいしさ奏でる三つのこだわり

[ポッキートリニティ] 〈オレンジピール〉〈アーモンド〉

プレッツェル、チョコ、トッピング三つすべてにこだわり、手の込んだおいしさを片手で手軽に楽しめる、ティータイムにぴったりのポッキーです。

味は、「オレンジピール」と「アーモンド」をご用意しました。大切な友人やご夫婦でのティータイムに是非、ご賞味ください。



カプリコの“ひとくち目”だけを楽しめる

[カプリコのあたま] 〈いちご味〉

チョコレート菓子「カプリコ」シリーズの新商品です。カプリコのあたまの部分(エアインチョコレート)だけを、可愛いハート型の一口サイズにしました。フタがついたトレイ入りなので、ちょっと間食したい時や分けて食べたい時に便利なチョコレートです。



❖ 新製品のご紹介

❖ 健康

アーモンドミルクの香ばしいアイス!

[アーモンド効果アイスバー (85ml)]

[アーモンド効果アイスバーマルチ (55ml×6本)]

“アーモンドミルク”のアイス、アーモンド仕立てのチョコレートのコーティング、クラッシュしたアーモンドと、3つの折り重なる味が楽しめます。どちらも1本で、ビタミンE(1日分)*と食物繊維入り。

※「日本人の食事摂取基準(2015年版)」より。



❖ 加工食品

電子レンジで温めるだけ 家庭的な味わいの具だくさんスープ

「クレアおばさんの具だくさんシリーズ」
〈クリームチャウダー〉〈コーンチャウダー〉
〈ミネストローネ〉

じゃがいも、にんじんなどの野菜が入った、具だくさんのレトルトスープ。

「クレアおばさん」ブランドこだわりのブイヨンをベースにした、家庭的でコクのある味わいです。

袋ごと電子レンジで温められるので、湯せんの手間がかからず、簡単・手軽に召し上がれます。



❖ 新製品のご紹介

❖ 乳業

とろ〜り、濃密食感が食べたい気持ちを満たしてくれるヨーグルト

[おいしいカスピ海 Creamy(100g)]

罪悪感なく小腹を満たしたいと考える女性向けに、『おいしいカスピ海』ヨーグルトの個食タイプを発売。

クレモリス乳酸菌を使用し、独特のとろ〜り濃密食感に仕上げました。

ほんのり甘くて、酸味が少なく、乳のおいしさ・コクをしっかり感じられる味わいです。



“生きて届くだけでなくおなかで増える” ビフィズス菌BifiXを使ったヨーグルト

[BifiXヨーグルト(375g)]

[BifiXヨーグルト脂肪ゼロ(375g)]

「ビフィズス菌BifiXがお通じ改善に役立つ」という機能が報告されている機能性表示食品です。

おなかの調子をすっきり整えたい方におすすめです。

そのまま食べられる、ほのかな甘さが特徴のヨーグルトです。



届出表示(抜粋)

ビフィズス菌BifiXは生きて腸まで届き、増殖することで、腸内環境を改善し、便通・お通じを改善することが報告されています。

果汁・清涼飲料

お子さまの元気な毎日を応援! 乳幼児向け清涼飲料

[幼児のみもの りんごウォーター(330ml)]

[幼児のみもの むぎ茶 純水仕立て(330ml)]

オーガニックりんご果汁と純水のみを使用し、母乳と同じ浸透圧(280mOsm/L)に調整した香料・着色料・保存料・砂糖不使用の果汁飲料と国産大麦と純水で仕立てた、ノンカフェインの赤ちゃんにやさしい味わいの麦茶です。

別容器への注ぎ分けに便利な容器を採用しています。



素材の味がしっかり味わえる お子さま向けスムージー

[幼児のみもの こどもスムージー(70g)]

〈りんごとおやさい〉〈りんごとぶどう〉

素材の味がしっかり味わえるよう野菜や果実をメインに使用した、着色料・香料・保存料・砂糖不使用のお子さま向けスムージーです。パッケージには、キャラクターを配し視覚と味覚の両方を楽しめます。

また、誤飲防止に配慮した大きなキャップを採用しています。



グリコ千葉アイスクリームにおける 拡張工場の竣工式を挙

2016年8月31日、かねてより建設中のグリコ千葉アイスクリームにおける既存工場を拡張した建屋(以下、拡張工場)が完成し、竣工式を挙



(上) 竣工式の様子
(下) 拡張工場の外観

遊びながらプログラミングの 基礎的な考え方を学習できます ～「GLICODE(グリコード)」～

小学校低学年から、プログラミングの考え方を身につけることで、論理的思考力や問題解決能力が育つと考えられています。創業以来、子どもたちの健やかな成長を願ってきたグリコは、子どもたちのプログラミング教育の力になるため、おいしいおかしを食べながら楽しく遊び、学ぶことができる「GLICODE(グリコード)」を開発しました。「GLICODE(グリコード)」は、総務省が推進する平成28年度「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業に選定されました。今後、小学校低学年を対象としたプログラミング授業を実施してまいります。スマートフォンがあれば体験できますので、株主の皆様にも体験していただきたいと思います。詳しくは、こちらをご覧ください。(GLICODE キャンペーンサイト)



<http://cp.glico.jp/glicode/>

おかしをルールに従って並べるだけで、誰でも手軽にプログラミングの基礎的な考え方を学習できます。

JPX日経インデックス400に選ばれました

当社は、株式会社日本取引所グループと株式会社日本経済新聞社により算出・公表されている株価指数『JPX日経インデックス400』(以下、『JPX日経400』と言います。)構成銘柄に選ばれ、8/31から銘柄に正式採用されました。『JPX日経400』は、資本の効率的活用や投資家を意識した経営的観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たす「投資家にとって

投資魅力の高い会社」で構成されます。今後も、株主の皆様からのご期待に添えるよう、尽力してまいります。



JPX-NIKKEI 400

常識を打ち破り続ける「パピコ」

「チューチュー吸う」という斬新な形態で「売れない」ジンクスを覆した「パピコ」。
誕生から40年以上たった今も進化し続けています。

ジンクスを打ち破る“白”いアイス

子どもが大好きな乳酸菌飲料を“氷菓”にした白いアイス「パピコ(当時60円)」が誕生したのは、1974(昭和49)年のことです。2個並列したロケット型の斬新な形の容器に、開けやすいよう工夫を凝らした開封口を採用。当時「白いパッケージの“氷菓”商品は売れない」というジンクスがありましたが、熊本県でテストセールを実施したところ、爆発的な売れ行きを記録しました。これに弾みを得て、1975(昭和50)年、全国に発売を拡大しました。

ティーンにも大人気

片手に持ってチューチュー吸って食べる形態から、小さな子どもをメインターゲットに発売した「パピコ」。ところが

調べてみると、意外なことに多くの中学生も買ってくださっていることが分かりました。そこで1977(昭和52)年、ティーンを意識した姉妹品「チョココービー味」を発売。大好評を獲得し、この2品で30億円以上を売り上げるヒットとなりました。

進化し続ける「パピコ」

お客様に愛され続けるために、現在も絶えず商品の改良やコミュニケーションの見直しを行っています。当初、子ども向けだった「パピコ」ですが、現在ではその「なめらか食感」が大人の方々からも好評を得ています。仕事や家事の合間に疲れを感じた時、リラックスしてもうひとがんばりしたい時、そんな「活力回復」ニーズに適したアイスとしても評価されています。



2015~

「ホワイトサワー 濃い味」発売。秋冬期に「乳酸菌発酵のおいしさ」と「コクのある味わい」を楽しめます。



「なめらかな食感」をさらに追求。
商品コピーも「なめらか食感のフロゼンスムージー」へ。

🔍 会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商 号 江崎グリコ株式会社
 創立年月日 大正11年2月11日
 資 本 金 7,773,681,654円
 営業品目 菓子・食料品の製造および売買。
 従業員数 5,120名(連結)
 本社所在地 〒555-8502
 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

● 主な事業所

■ 本社

〒555-8502
 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
 電話(06)6477-8352

■ 大阪梅田オフィス

〒530-0018
 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル
 電話(06)6130-6839

■ 品川オフィス

〒108-0074
 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル
 電話(03)5488-8170

■ 昭島オフィス

〒196-0021
 東京都昭島市武蔵野2-14-1
 電話(042)544-2222

● 主な関係会社

グリコ栄養食品株式会社

アイクレオ株式会社

仙台グリコ株式会社

茨城グリコ株式会社

関東グリコ株式会社

三重グリコ株式会社

関西グリコ株式会社

鳥取グリコ株式会社

九州グリコ株式会社

グリコ千葉アイスクリーム株式会社

グリコ兵庫アイスクリーム株式会社

東北グリコ乳業株式会社

那須グリコ乳業株式会社

東京グリコ乳業株式会社

岐阜グリコ乳業株式会社

広島グリコ乳業株式会社

佐賀グリコ乳業株式会社

江栄情報システム株式会社

グリコチャンネルクリエイイト株式会社

東北フローズン株式会社

関西フローズン株式会社

正直屋乳販株式会社

Thai Glico Co., Ltd.

Glico Frozen (Thailand) Co.,Ltd.

PT. Glico Indonesia

PT. Glico-Wings

上海江崎格力高食品有限公司

上海江崎格力高南奉食品有限公司

GLICO-HAITAI CO., LTD.

Generale Biscuit Glico France S.A.

Ezaki Glico USA CORP.

🔍 役 員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長 江 崎 勝 久
 代 表 取 締 役 江 崎 悦 朗
 取 締 役 栗 木 隆
 取 締 役 大 貫 明

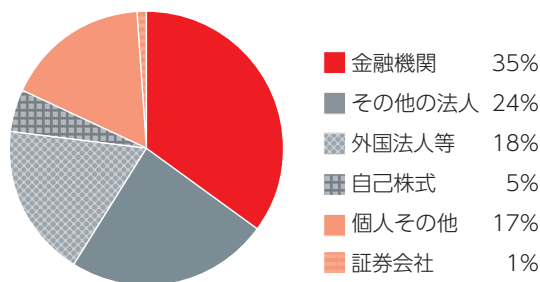
取 締 役 益 田 哲 生
 取 締 役 加 藤 隆 俊
 取 締 役 大 石 佳 能 子

監査役(常勤) 吉 田 敏 明
 監査役(常勤) 安 達 弘
 監 査 役 岩 井 伸 太 郎
 監 査 役 宮 本 又 郎
 監 査 役 工 藤 稔

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 270,000,000株
 発行済株式総数 69,430,069株
 株主数 17,270名

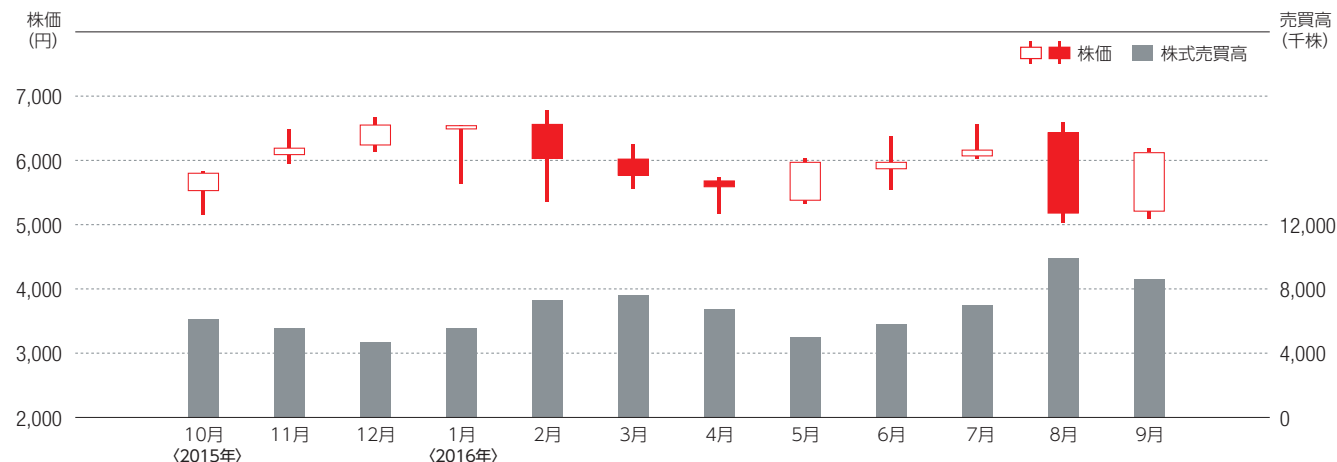
所有者別株式数比率



大株主 ※自己株除く ※株式数は表示単位未満の端数を切捨て

氏名又は名称	持株数(千株)
掏泉商事株式会社	4,131
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,752
大同生命保険株式会社	3,500
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,894
日清食品ホールディングス株式会社	2,100
佐賀県農業協同組合	1,943
大日本印刷株式会社	1,598
江崎グリコ共栄会	1,533
大正製薬ホールディングス株式会社	1,010
野村信託銀行株式会社(投信口)	955

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、
 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
 および特別口座
 の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ 0120-782-031

インターネット
 ホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.glico.com/jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所

株主様ご優待

株主の皆様の日ごろのご支援に対する感謝の御礼と致しまして、株主優待制度を実施しております。

- 贈呈時期 12月上旬ごろ年1回
- 贈呈基準 9月30日現在の株主様へ
※3月31日現在の株主様への優待は
 ございません。

100株～499株

市価1,000円相当の
 グリコグループ製品



500株～999株

市価2,000円相当の
 グリコグループ製品



1,000株以上

市価4,000円相当の
 グリコグループ製品



※製品写真はイメージです。

株券電子化後の各種お手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の単元未満株式の買取買増のご請求については、いくつかご注意ください。

1. 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。

お届出先・ご照会先

「ほふり」をご利用の
株主様



株主様の口座のある
証券会社

「ほふり」を
ご利用でない
(特別口座)の株主様



三井住友信託銀行
株式会社

※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2. 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)をお願いいたします。

3. 100株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1単元(100株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて100株となるように株式をお売りする、もしくは100株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.com/jp/>